

何をどのように勉強したらよいか分かる一冊

猪口孝著『社会科学入門』中公新書

この本は簡単に言う
と、大学でどのよ
うなことを心得て勉強す
べきかについて、社会科
学に引きつけて書かれた
ものである。本書の副題
には「知的武装」とある
が、「知的武装」とは、
著者の言葉を借りると
「現象をひとつひとつと
さほぐし、鍵となるもの
をみつけた上で、鍵を中
心にして現象を組み直す能力」を
修得することである。その意味で
は、社会科学を志す学生以外にも
役立つ本である。

「社会科学」というと何やら難
しそうに思うかも知れないが、目
次を見れば何をどういうふう
に勉強したらよいか非常にわかりや
すい。「古典に親しむ」、「歴史を知
る」、「科学的思考を身につける」、
「批判精神を養う」、「好奇心を持
つ」、「発想を豊かにする」、「自分
の眼で見る」、「議論を好む」、「作
文を習慣づける」、「情報処理のシ
ステムを作る」、「数字に強くな
る」、「外国語をものにする」。ま
た、最後の3章は、「政治学案内」、



「経済学案内」、「社会学案内」に
充てられ、各分野の代表的古典の
内容を大まかに把握できる点でも
有用である。

先日、私が担当する講義でアン
ケートを行ったところ、学生から
次のような回答があった。「こん
なの暗記して何になるの?」。暗
記すること自体にはほとんど意味
がない。学んだことを元に自分自
身で考えて欲しい。鶴呑みにせず
に批判的に検討する精神を身につ
けて欲しいのである。本書で挙げ
られた方法は必ずしも唯一絶対の
方法ではないが、それらを手掛か
りには是非とも自分のスタイルを確
立して欲しい。



林 宰司 (はやし・ただし)

経済学部講師。

1973年生まれ。1997年慶応義塾大学経済学部卒、
2002年京都大学大学院経済学研究科博士課程学修認定退
学。専門分野は環境経済学、環境政策論。特に貿易や直接
投資を通じて環境規制の厳しい国から緩い国へと汚染集約
的産業が移動する「公害輸出」と呼ばれる問題など、経済
のグローバル化に起因する環境問題に関心を持っている。